



【世界初への挑戦】絶滅危惧種キタイワトビペンギン 人工授精の可能性がある卵が「嘴打ち（ハシウチ）」を開始！

～本日よりYouTubeにて誕生の瞬間を24時間ライブ配信／孵化後は一般公開を予定～



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、絶滅危惧種（※1）「キタイワトビペンギン」の域外保全および繁殖技術の確立を目指し、人工授精の取り組みを進めております。

今繁殖期、当パークでは計3個の有精卵を確認いたしました。そのうち、人工授精による受精の可能性を秘めた卵（2卵目）が、10月26日（月）朝、赤ちゃんが内側から殻を割り始める「嘴打ち（ハシウチ）」を開始いたしました。卵から赤ちゃんが誕生する瞬間をYouTubeライブ配信を通して皆様と共に見守ります。赤ちゃんが無事に誕生した後は、体調を見ながらパーク内「ペンギンベース」1階にて一般公開（展示）を行う予定です。

なお、本卵から赤ちゃんが無事に誕生し、その後のDNA鑑定で人工授精による受精が証明された場合には、キタイワトビペンギンにおける人工授精の成功例として「世界初」となります（2026年10月時点 自社調べ）。小さな体で懸命に殻を破ろうとする新たないのちの鼓動を、ぜひ画面越しに見守ってください。

（※1）IUCN（国際自然保護連合）レッドリストにて「危機（EN）」に指定。

■ 人工授精による受精の可能性がある卵（2卵目）の状況と「世界初」への挑戦について

当パークでは今繁殖期、対象ペア（個体識別番号：R041×R045）に対して計6回の人工授精作業を実施いたしました。今期確認された3個の有精卵のうち、人工授精の処置タイミングから「2卵目」が人工授精によって受精した可能性を有しています。

現在の状況：10月26日、赤ちゃんが肺呼吸を開始し、内側から殻を割る「嘴打ち」を確認。

順調に進めば2～3日以内に孵化（誕生）する見込みです。

科学的検証：同ペア間での自然交尾の可能性もあるため、誕生後（約1か月後）に実施する「DNA鑑定（父子判定）」をもって、人工授精の成否を科学的に判定・公表いたします。

なお、10月25日（日）に「1卵目（ペア：R003×R006）」が無事に孵化し初期人工育雛に入っているほか、「3卵目（ペア：R003×R006）」（※2）も嘴打ちを確認しています。

（※2）キタイワトビペンギンは1ペアから通常2つの卵を産卵します。



■【24時間生中継】YouTubeライブ配信概要

2卵目の赤ちゃんが懸命に殻を押し広げ、世界へ飛び出そうとする貴重な瞬間を24時間連続でライブ配信いたします。

配信開始日時：2026年10月27日（火）より順次開始（孵化まで配信予定）

配信プラットフォーム：[アドベンチャーワールド 公式YouTubeチャンネル](#)

配信内容：孵卵器内にて嘴打ちが進む2卵目の定点ライブ映像（誕生後も配信は継続予定です。）

■パーク内での一般公開について

2卵目が無事に孵化した際に、公開を予定しています。（10月28日孵化予定）

場所：ペンギンベース1階にて公開

※赤ちゃんの健康管理・状態管理を最優先とするため、公開内容や時間が予告なく変更または一時休止となる場合がございます。

■今後のスケジュール（予定）

- ・10月28日（水）～：2卵目の孵化（誕生見込み）
- ・11月中旬：赤ちゃんの親元復帰（親元復帰に伴い「ペンギンベース2階（非公開エリア）」へ移動）
- ・12月頃：DNA鑑定（父子判定）結果の発表（人工授精成否の判定）

※動物の体調や生育状況により、スケジュールおよび公開エリアが予告なく変更となる場合がございます。

【キタイワトビペンギンについて】

- 分類：ペンギン目 ペンギン科
- 学名：*Eudyptes moseleyi*
- 英名：Northern Rockhopper Penguin
- 生息地：南極大陸周辺、インド洋の亜南極地帯
- 食性：魚類、イカ、オキアミなど。アドベンチャーワールドでは主にシシャモやイワシなどを与えています。
- 繁殖：周囲を崖で囲まれた平地やゆるやかな傾斜地で草や枝などを使って巣を作り、2個の卵を産みます。抱卵はオス・メス交代で行います。
- 体長：55～65cm
- 体重：3.5～4kg
- 特徴：目の上から後頭部にかけて、長く鮮やかな黄色の飾り羽が特徴的です。また、陸上では岩場を歩くだけでなく、両足で跳ねるように移動する姿も特徴的です。

